第59回 外国人による日本語弁論大会
The 59th International Speech Contest in Japanese

〈 主　催 〉

一般財団法人国際教育振興会／独立行政法人国際交流基金／壱岐市

〈 後　援 〉

外務省／文化庁／長崎県／長崎県教育委員会／壱岐市教育委員会／長崎県国際交流協会
NHK／NHKエデュケーショナル／日本語教育学会

〈 協　賛 〉

キッコーマン株式会社／専門学校新聞社／にほんごの凡人社／リコージャパン株式会社／留学生新聞
壱岐酒造協同組合／一般社団法人壱岐みらい創りサイト／壱岐ステラコート太安閣／ビューホテル壱岐

日本語弁論大会59年の歩み

一般財団法人国際教育振興会で毎年開催している事業の一つに外国人による日本語弁論大会があります。この大会は1960年にその第1回を開催、以来、1995年の第36回大会まで国際教育振興会が単独で主催、会場は当時東京・有楽町にありました朝日新聞社講堂で始まり、その後は虎ノ門の国立教育会館（通称、虎ノ門ホール）で開催しておりました。1996年（第37回大会）から国際交流基金と共催にて開催、1998年（第39回大会）から開催都市も含めた3者共催となり、今日に至っております。以下、地方開催からの大会結果をご紹介します。

開催年	回／開催地	会　場	外務大臣賞 演　題	外務大臣賞 受賞者／出身国	文部科学大臣賞 演　題	文部科学大臣賞 受賞者／出身国
1998年	第39回 岐阜市	長良川国際センター	単身赴任で学んだこと	マーク アンダーソン アメリカ	食文化ー国際交流への近道	ヤティーン マスタカル インド
1999年	第40回 福岡市	アクロス福岡・福岡シンフォニーホール	違うってことは素敵ジャン	ラズモフスカヤ オクサナ ロシア	忘れ得ぬ日	リ テイ 中国
2000年	第41回 長崎市	長崎ブリックホール	みそのみそくさいは上みそにあらず	クニュガ エヴァンス ギタヒ ケニア	垢擦りしないでください	パク ソンヒ 韓国
2001年	第42回 上越市	上越文化会館	心は日本人	ジェイソン ハンコック アメリカ	日本で流した二回の涙	チョ スンヒョン 韓国
2002年	第43回 大阪市	大阪国際交流センター大ホール	国際交流と書いてエンターテイメントと読む	レイモンド タン リーフン マレーシア	日本の高齢社会から学ぶもの	チン シャオシェン 中国
2003年	第44回 札幌市	札幌コンベンションセンター	僕の大好物がまぐろになった理由	ザイヌル アクラミン マレーシア	なくそうバリア、ふやそう心のバリアフリー	キム ミョンフン 韓国
2004年	第45回 高知市	高知市文化プラザかるぽーと	さとうきび畑の唄	キム シンエ 韓国	心の故郷	ビシャール バルマ インド
2005年	第46回 米子市	米子コンベンションセンター	縁側から始まる日韓交流	ハ アラン 韓国	一服のお茶から	ジョアン オブライアン アイルランド
2006年	第47回 下関市	下関市市民会館	日本における豊かさとは？	ラリット マヤ マハット ネパール	心のスイッチを押してください	ミン テイル 韓国
2007年	第48回 泉佐野市	泉佐野市立文化会館泉の森ホール	関西弁は第二日本語	キム ヨハン 韓国	僕の生まれたところは	イ ゼフン 韓国
2008年	第49回 川越市	川越市市民会館	若者・馬鹿者・よそ者	サミーラ グナワラデナ スリランカ	あなたは「大変」ですか	フェレシテ ナジミ イラン
2009年	第50回 函館市	函館市民会館	北の国で学んだ三つのこと	ドミニク バゲンダ カスッジャ ウガンダ	調べてガッテン日本語の「はい」	シャボヴァーロヴァ スヴェトラーナ ロシア
2010年	第51回 新潟市	新潟市民芸術文化会館りゅーとぴあ	ソコ、読まな！	ヨウ ロ 中国	私の韓国語奮闘記	キム ギョンヒ 韓国
2011年	第52回 町田市	桜美林大学ホール（つくば市開催予定が震災のため変更）	私は「脅威の国」から来た娘？	リ メイギョク 中国	私の異文化体験-愛の伝え方	タウン ラ ミャンマー
2012年	第53回 別府市	別府市ビーコンプラザシンフォニーホール	日本の田舎に学んだもの	山﨑ランサムどりあ アメリカ	日本人の若者の「やばい」言葉遣い	チャンピソンミッド パカム ラオス
2013年	第54回 北九州市	北九州芸術劇場大ホール	気になる「気」	ワン アハマド ナザルティン ビン ワン アジザン マレーシア	ホームレスに学んだ日本人の精神	レイラ ミユキ アンラク ブラジル
2014年	第55回 松江市	松江市総合文化センター「プラバホール」	育爺時代の幕開け	カ ギョウオン 中国	働かせてもらう意識	ジョン サンジン 韓国
2015年	第56回 東近江市	東近江市立八日市文化芸術会館	心の種、私の言の葉	ジャネル ジョイス サーミエント カヒリグ フィリピン	どうすれば忘れないのか	アンドレ ペレズ アメリカ
2016年	第57回 高山市	高山市民文化会館	若い心に、でっかい夢を	フローリス デ・グラーフ オランダ	日本人になるのは、可能か	エリーザ フランチーニ イタリア
2017年	第58回 つくば市	つくば市立ノバホール	考えさせてください	ホウ　エイ 中国	おもてなしって？	チャウ　エン イ アイリニ マレーシア

例年、約100名前後の応募者の中から、予選審査で決勝大会出場者を選出しておりますが、年々応募者の日本語能力が向上し日本語が母語ではないか、と思わせるほどの話し方をする出場者が増えております。外国人の日本語習得の高さをますます実感いたします。

2018
The 59th International Speech Contest in Japanese

聞いてください、私たちが見た日本、感じた世界。

第59回 外国人による 日本語弁論大会

応募お待ちしています！

壱岐市公認キャラクター「人面石くん」

— 実施要領 —

応募受付期間　2018年2月1日(木)～4月17日(火)

開催日時　2018年5月26日(土) 午後1時 開始

開催場所　長崎県壱岐市 壱岐の島ホール「大ホール」

実りの島 壱岐

〈 主　催 〉

一般財団 国際教育振興会　JAPANFOUNDATION 国際交流基金　長崎県 壱岐市 実りの島 壱岐

開催の趣旨

急速にグローバル化が進む現在、私たちが住む地球の豊かな発展には、国籍や文化の違いを越え、建設的な意見交換を行いながら、より一層の相互理解を深めることが大切です。
日本の社会や文化に日頃から深く接している世界各国の人々に、日本語でスピーチをする機会を提供することは、それを聞くすべての人に対して、そして発表する本人に対しても、新たな視点を与えてくれる好機です。違いを知り、違いを楽しむことこそ、人類の平和共存・発展へ繋がるという想いから、1960年より毎年「外国人による日本語弁論大会」を開催、1998年(第39回大会)からは毎年、各都市で開催、2018年は長崎県壱岐市で開催いたします。

実施要領

1. 日時および開催場所

2018年5月26日(土)午後1時開始
壱岐の島ホール
〒811-5133 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触445番地
Tel. 0920-47-4111
http://www.iki-bunkahall.com

2. 演題および制限時間

○演題は自由、但し伝道、宣伝に類するものは不可で未発表作品に限る
○制限時間は6分以内、時間超過は減点の対象となる
○過度な演出、演技および小道具の使用は禁止

3. 出場資格

次①～③の条件を同時に満たす方
①母語が日本語以外であること
②大会当日の年齢が満15歳以上であること
③過去のこの大会で外務大臣賞または文部科学大臣賞を受賞していないこと

4. 審査基準

①主題の良否(聴衆の興味と関心を呼ぶ時宜を得た主題であり、これを論ずることに意義が認められるか)
②事例の適切さ(取り上げられる事例は主題を説明する上で十分かつ適切なものであるかどうか)
③内容の構成(独自の見方、考え方が適切に表現され、主題が論理的かつ効果的に整然と展開されているか)
④語句の使い方(主題、内容にふさわしい語句を選んでいるか、その発音、抑揚、文法は適切か)
⑤話し方(表情、動作などが自然で、好感が持て、かつ説得力があるか)

以上の5項目を中心に審査員5名で審査を行います。
※**但し、予備審査の段階で日本語の能力、運用技術だけでなく、日本語の学習歴、学習環境、個人の資質および本大会の開催趣旨である国際理解への社会的効果を参考として審査の対象とする場合もあります。**

5. 出場者決定

スピーチ原稿およびスピーチの録画映像を4. の審査基準の①～④に基づき予選審査を国際教育振興会内で行い本選出場者10～12名を決定します。その結果は**2018年5月上旬**に直接、応募者に通知します。

6. 応募方法および応募締切

応募期間：2018年2月1日(木)～4月17日(火)
①所定の申込用紙に記入(用紙は国際教育振興会のホームページからプリントアウトしてください)
www.iec-nichibei.or.jp/pdf/speechcontest59.resist.pdf
※**入手が難しい方は大会事務局までご連絡ください。**
②スピーチを録画したメディアまたはデータ
㋐日本語で氏名および演題を言ってから、スピーチを始める。
㋑スピーチは**6分以内**に必ず終える。
㋒1スピーチにつき1枚(個)の記録メディアまたはファイルに記録する。
㋓収録は、正面からスピーチをしている顔が映るようにする。
㋔DVD-Video形式での録画の場合、記録メディアはDVD-R、コピープロテクトをしないで、ファイナライズする。
㋕PC/スマホのウェブカメラなどを利用した録画の場合、データファイルは、DVDまたは、SDカード、USBメモリなど記録メディアに記録し、郵送するかデータをメール添付などにてお送りください。また同様にコピープロテクトはしない。
㋖録画環境が身近に無い方は、音声のみを録音したもので構わない。
※再生時の不具合などあった場合、再送などをお願いすることがあります。オリジナル映像／音声は必ず応募者各自で保管する。
③スピーチの原稿(A4サイズの用紙に出力または手書きしたもの)またはWORD・PDFデータ
④顔写真1枚(3cm×4cmで顔がはっきりと写っているもの)、申込書に貼る
上記の1～4をまとめて応募書類送付先まで郵送またはメールに添付して提出を願います。(応募書類などは返却いたしません)。

応募書類送付先
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-50
または、benron@iec-nichibei.or.jp
国際教育振興会
「外国人による日本語弁論大会」係宛て
応募締切日 2018年4月17日(火)までに
届くように送付のこと。

注記：一人で複数のスピーチの応募はできません。また応募したスピーチの内容を本選で変えることはできませんのでご注意ください。(不適切な用語または事実誤認など、若干の訂正は認めますが、その場合は国際教育振興会弁論大会事務局まで連絡をして下さい)

7. 本大会表彰 (予定)

◆外務大臣賞……賞状・賞杯
◆文部科学大臣賞……賞状・賞杯
◆主催団体賞……賞状・賞杯
◆会場審査員賞……賞状・楯
(当日来場者の投票で最多得票を獲得したもの)
その他、副賞および参加賞(主催・協賛団体提供)

8. その他

①交通費に関して
本大会(本選)への出場者は大会前日の夕方、開催地集合となります。壱岐市宿泊施設までの交通費は主催者が往復負担いたします。但し原則として公共交通機関のみで、タクシー代は個人負担とします。

②宿泊に関して
本大会(本選)への出場者には主催団体が宿泊(前日と当日)を手配します。費用は主催団体の負担とします。

③著作権に関して
スピーチの著作権はすべて一般財団法人国際教育振興会に帰属します。
但しNHKが放送用に録音・録画した制作物の著作権および編集権はNHKに帰属します。
注記：なお、出場者全員のスピーチが放送されるとは限りません。またスピーチが編集される場合もありますので予めご了承下さい。

④広報での使用に関して
本大会の出場者の氏名、国籍、所属(学校名、勤務先など)、写真などは大会のプログラム、宣伝用のチラシ、主催者・後援団体のWEBサイトを通じて事前に発表いたします。
本大会出場者全員のスピーチ映像を主催団体のWEBサイトにて大会終了後、公表を予定しております。

⑤個人情報の取り扱いについて
応募者ならびに出場者の方々の個人情報は「外国人による日本語弁論大会」の実施目的のために使用します。主催者、後援協賛団体以外の第三者に許可なしに個人情報を渡すことはありません。

【大会に関する問い合わせ先】
一般財団法人国際教育振興会
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-50
電話 03-3359-9620　FAX 03-3353-8908
ホームページアドレス：http://www.iec-nichibei.or.jp
E-mail: benron@iec-nichibei.or.jp
月～金曜日　9:00～17:00